

S A N E I

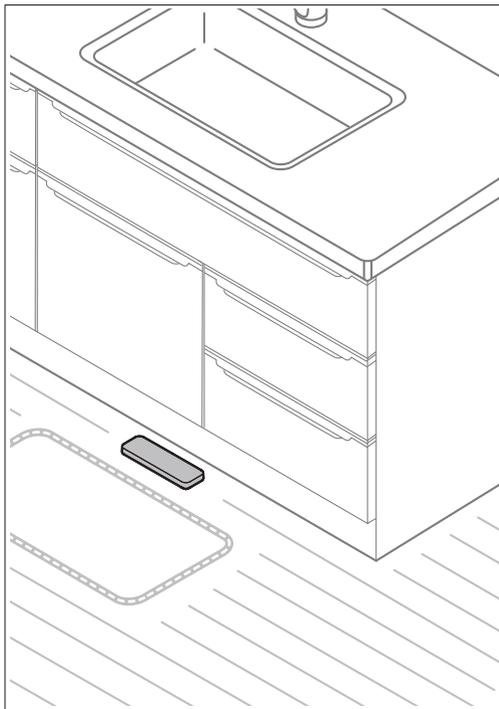
保証書付

ワイヤレススイッチセット

…………… EK802-5X-13

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ正しく施工、ご使用ください。



本製品について

本製品の特長・各部の名称……………	1
寸法図……………	2

施工について

梱包明細……………	3
施工に関する安全上のご注意……………	4~6
適切な使用条件……………	7~8
施工手順……………	9~17

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意……………	18~22
リモコンの設置……………	23
ご使用前の確認……………	24
ご使用方法……………	25
リモコンのペアリング……………	26

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り……………	27
ストレーナーの掃除……………	28

定期的な点検

リモコンの電池交換……………	29~30
電池ケース（単1）の電池交換……………	31~32
配管周りの水漏れ・器具のガタツキ・ホコリの除去……………	33

凍結防止について

寒冷地用の水抜方法……………	34
----------------	----

こんなときは

こんなときは……………	35
◆電池が切れた状態で使いたいときは？	
◆吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)したら？	
漏水した場合の処置……………	36
故障？ その前に……………	37~38

その他

本製品の構造……………	39
仕様……………	40

ACアダプター（別売）について

取り付けについて……………	41~42
停電したら？……………	43
コントローラーの電池交換（バックアップ用）……………	43

保証とアフターサービス

保証とアフターサービス……………	44~45
無料修理規定……………	46
保証書……………	裏紙

お客様へ

保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合は、お買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

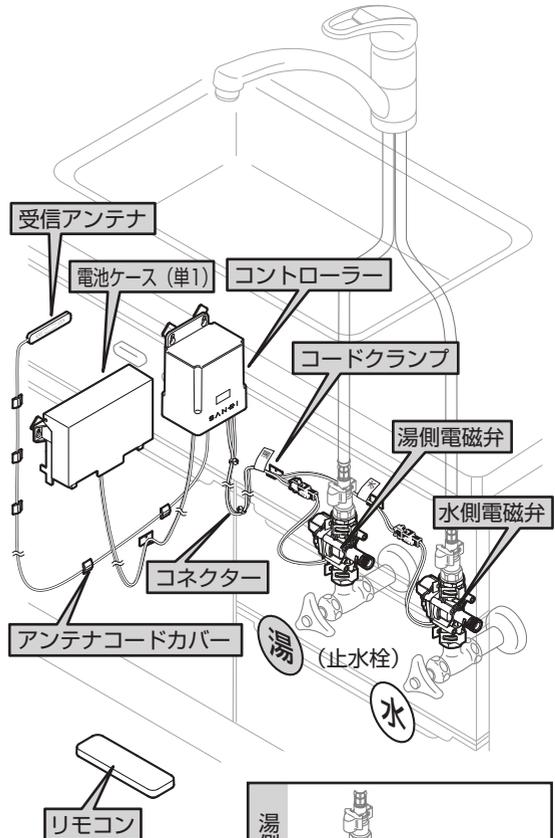
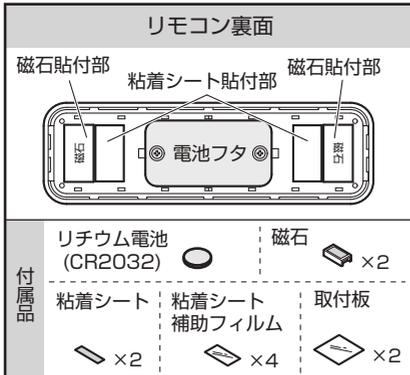
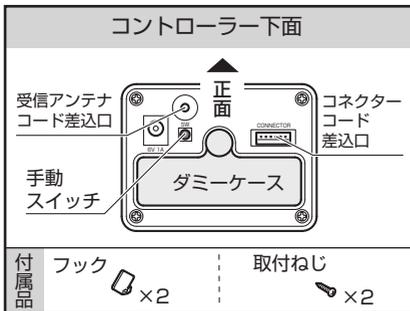
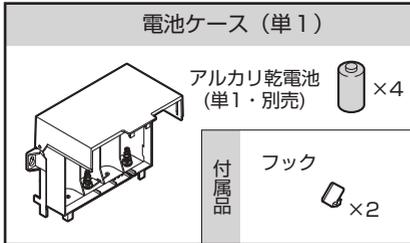
施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へおわたしてください。

本製品について

本製品の特長・各部の名称

本製品の特長

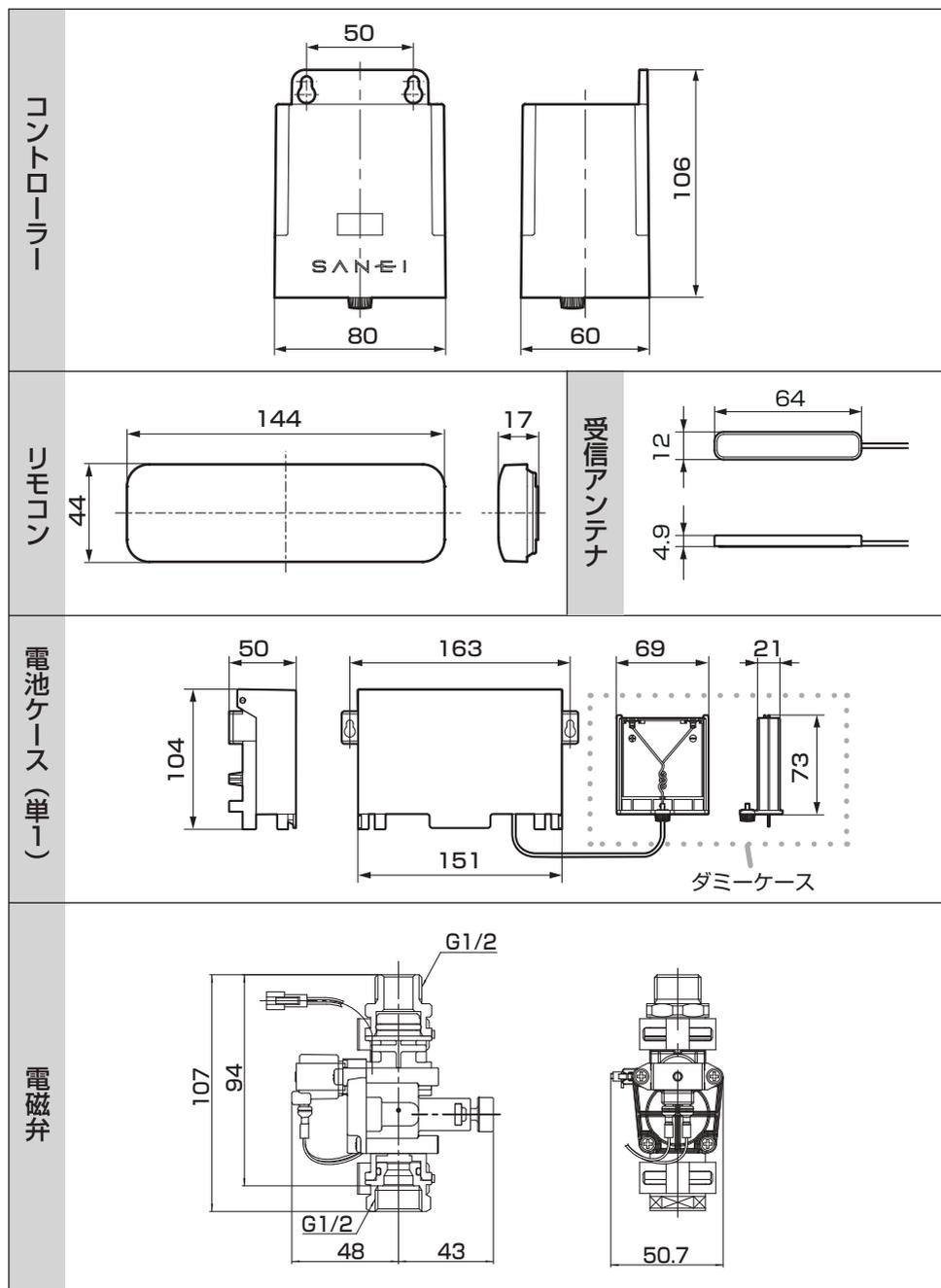
- 手元や足元でのワンタッチ動作で、湯水を出したり止めたりできる便利商品です。
- キッチンや洗面所でお使いの混合栓（シングルレバー式、サーモスタット式、ミキシング式、またはツールバルブ式の混合栓）に組み合わせて使用できます。
- リモコンは薄型でスタイリッシュなデザインに仕上げました。
- リモコンの操作感にもこだわり、絶妙な押し込み感とストロークで快適な操作を実現しました。
- コントローラーの作動電力はアルカリ乾電池（単1×4本・別売）です。
- リモコンの作動電力はボタン電池（CR2032）です。
- 電池が消耗していて使用できない場合のために、栓棒（緊急用強制開放ねじ）を搭載しました。



- 品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。
- 水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

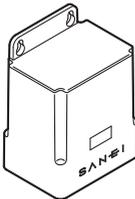
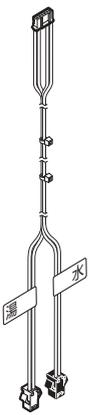
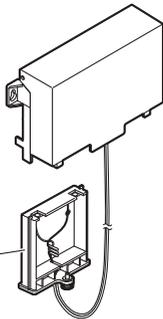
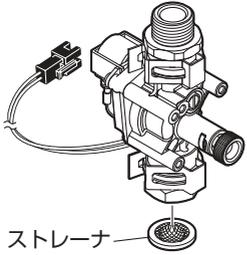
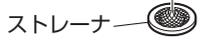
本製品について 寸法図

●仕様により、寸法が異なる場合があります。



施工について 梱包明細

●開梱の際は、製品に傷をつけないようご注意ください。

<p>コントローラー</p>	<p>コントローラー</p> 	<p>フック</p>  ×2 <p>取付ねじ</p>  ×2	<p>リモコン</p>	<p>リモコン</p>  <p>リチウム電池 (CR2032)</p>  <p>取付板</p>  ×2	<p>粘着シート</p>  ×2 <p>粘着シート補助フィルム</p>  ×4 <p>磁石</p>  ×2
<p>コード類</p>	<p>コネクター</p> 	<p>受信アンテナ</p>  <p>コードクランプ</p>  ×3 <p>アンテナコードカバー</p>  ×5	<p>電池ケース (単1)</p>	<p>電池ケース (単1)</p>  <p>ダミーケース</p> <p>フック</p>  ×2	
<p>電磁弁</p>	<p>電磁弁</p>  <p>ストレーナ</p> 	<p>説明書</p>	<p>施工・取扱説明書 (保証書付)</p>  <p>必ず、お客様にお渡しください。</p>		

施工について 施工に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告

「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」



「水や液体をかけたり、浸けてはいけません！」



「分解してはいけません！」

注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」



「触れてはいけません！」



「指示通りにしないで！」
(一般的な行動指示記号です。)



「注意しないで！」
(左記 警告・注意と併用して注意をうながす記号です。)



「してはいけません！」
(一般的な禁止記号です。)



「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」



「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

警告



禁止

本製品は、日本国内のキッチン・洗面用です。それ以外の条件下には設置しないでください。

●湯水を逆に配管しないでください。

●あらかじめ、止水栓の湯側・水側を確認してください。

湯側・水側を間違えて取付けると、水を出そうとしても、湯が出てやけどをするおそれがあります。



禁止

●コネクターを接続する際は、湯側・水側を間違えないように注意してください。

湯側・水側を間違えて取付けると、湯が先に出てやけどをするおそれがあります。



禁止

給湯温度は60℃より高温に設定しないでください。

高温の湯が出るとやけどをするおそれがあります。



禁止

この商品を構成する部品以外の取付けや、部品の取りはずしなどの改造はしないでください。

故障や感電の原因になります。また、商品の性能を損ない、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

警告



禁止

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器や医療機器の近くで作動させないでください。

自動制御機器やペースメーカー、その他医療機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。

当該の医療機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。なお、このリモコンは微弱電波無線機器に該当し、出力は315MHz帯、500μV/m以下です。



禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。

故障や感電の原因になります。



禁止

絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

火災や感電の原因になります。



禁止

湯側電磁弁とその周辺に、直接肌を触れないでください。

給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。



必ず実行

湯水を出す際は、必ず手で適温であることを確かめてください。

高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

⚠ 警告	
 必ず実行	湯を出した後は、しばらく水を流してから止水してください。 次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。
 必ず実行	ストレーナの掃除をする際は、いきなり接続金具をゆるめずに、止水栓を閉めてから行ってください。 また、湯側電磁弁が熱くないことを確認してください。 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
 禁止	電磁弁やコントローラー・コード類・ACアダプター（別売）に水や洗剤、汚水をかけないでください。 火災や感電の原因になります。
 禁止	コード類およびACアダプター（別売）が破損するようなことをしないでください。 【してはいけない例】 ●傷つける ●加工する ●無理に曲げる ●ねじる ●引っ張る ●重いものを載せる ●挟み込む ●加熱する 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
 禁止	【ACアダプター（別売）をご使用の場合】 ガタついているコンセントは使用しないでください。 火災や感電の原因になります。
 禁止	【ACアダプター（別売）をご使用の場合】 指定された電源（AC100V）以外で使用しないでください。 火災の原因になります。
 禁止	【ACアダプター（別売）をご使用の場合】 コンセントや配線器具の定格を超える使い方は避けてください。 火災の原因になります。
 禁止	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わないでください。 火災や感電の原因になります。

⚠ 警告	
 禁止	【ACアダプター（別売）をご使用の場合】 雷が発生しているときは、ACアダプターに触らないでください。 感電の原因になります。
 禁止	【ACアダプター（別売）をご使用の場合】 ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。 感電の原因になります。
 必ず実行	【ACアダプター（別売）をご使用の場合】 ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。 火災や感電の原因になります。
 必ず実行	【ACアダプター（別売）をご使用の場合】 ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。 火災や感電の原因になります。

⚠ 注意	
 禁止	製品に強い力や衝撃を与えないでください。 【してはいけない例】 ●固いものをぶつける ●重いものを載せる ●過度な体重をかける・もたれる 故障や漏水の原因になります。
 禁止	屋外や凍結が予想される場所には設置しないでください。 部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 凍結のおそれがある場合は、保温材を巻くなど、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。
 禁止	新・旧および異なる種類の電池を混ぜて作動させないでください。 電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因になります。
 必ず実行	施工完了後、長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉め、下記のことを行ってください。 ●ACアダプター（別売）を抜く ●コントローラーの電池を取りはずす 誤作動や故障などによる予想しない事故や、電池の液漏れによるけがや周囲を汚損する原因になります。

⚠ 注意



施工完了後は、水栓のハンドル（レバー）を閉めてください。
不意にリモコンが反応し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行



リモコンをはずしたり、移動したりする際は、水栓のハンドル（レバー）を閉めてください。
不意にリモコンが反応し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

リモコンを磁石で取付ける場合の 注意事項



磁石は、一度貼付けるとはずすことができません。
リモコンを取付ける際は、磁石・粘着シートのどちらで取付けるのが適切か、慎重にご判断ください。
磁石を貼付けた場合は、粘着シートを使用することができなくなります。

必ず実行



傷つきやすい金属面には取付けしないでください。
取付面を傷つける原因になります。

禁止



リモコンを磁石で取付けたまま、ずらさないでください。
取付面を傷つける原因になります。

禁止

⚠ 注意

リモコンを粘着シートで取付ける場合の 注意事項



磁石は貼付けしないでください。
磁石を貼付けた場合は、粘着シートを使用することができなくなります。

禁止



表面材質の弱い場所にリモコンを取付けしないでください。
塗装面や壁紙・化粧紙仕上げ・その他表面処理や材質によっては、リモコン取りはずし時に塗装や表面材がはがれたり、変色・劣化するおそれがあります。

禁止



リモコンを床面上に取付ける時は、つまずかないような場所に取付けてください。
転倒などにより、けがをするおそれがあります。

必ず実行



粘着シート補助フィルムを貼付けるときは、貼付け面の汚れをきれいに拭き取ってください。
汚れたまま貼付けると、粘着シート補助フィルムの強度が落ち、落下の原因になります。

必ず実行



塩ビ材質の場所にリモコンを取付けるときは、必ず粘着シート補助フィルムを下に貼ってください。
リモコン取付部が変色、劣化する原因になります。

必ず実行



粘着シート補助フィルムは、はがさないでください。
貼付け場所の表面処理や材質によっては、塗装や表面材がはがれる原因になります。

禁止



リモコンを取りはずす際は、扉や床の表面を保護するために、リモコンをゆっくりはがしてください。
強い力で急にはがすと、リモコン取付部を傷つけたり、塗装や表面材がはがれる原因になります。

必ず実行



リモコンは何度も取りはずさないでください。
粘着シートの強度が落ち、落下の原因になります。

禁止

施工について 適切な使用条件

- 給水・給湯圧力：
 - 最低必要水圧(流動時)：0.05MPa
 - 最高使用水圧(静止時)：0.75MPa
- 使用最高温度：60℃
- 使用可能水質：水道水
- 用途：一般住宅用

給水・給湯圧力についてのご注意

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
- 止水時の水撃音が大きき場合は、止水栓で流量を調節してください。それでも直らない場合は、水撃低減器（SANEI品番：T1670-13）を取付けてください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

給湯についてのご注意

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

配管についてのご注意

- 取付け後の保守点検のために、必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 食器洗淨機などで連続給水が必要な場合は、給水管を電磁弁の前(上流側)から分岐してください。
リモコン操作によって、断水されるおそれがあります。
- 水栓の給水・給湯ホースは、折れ曲がらないよう注意してください。
給水・給湯取出位置が高いと、場合によっては取付けできなくなるおそれがあります。

設置場所についてのご注意

- リモコンや受信アンテナの設置場所によっては、電波を受信しにくいことがありますので、固定前に動作を確認してから取付けてください。

電波を受信しにくい場合は、受信アンテナを外に出すか、受信アンテナまたはリモコンの取付位置を変えてみてください。

- 次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。

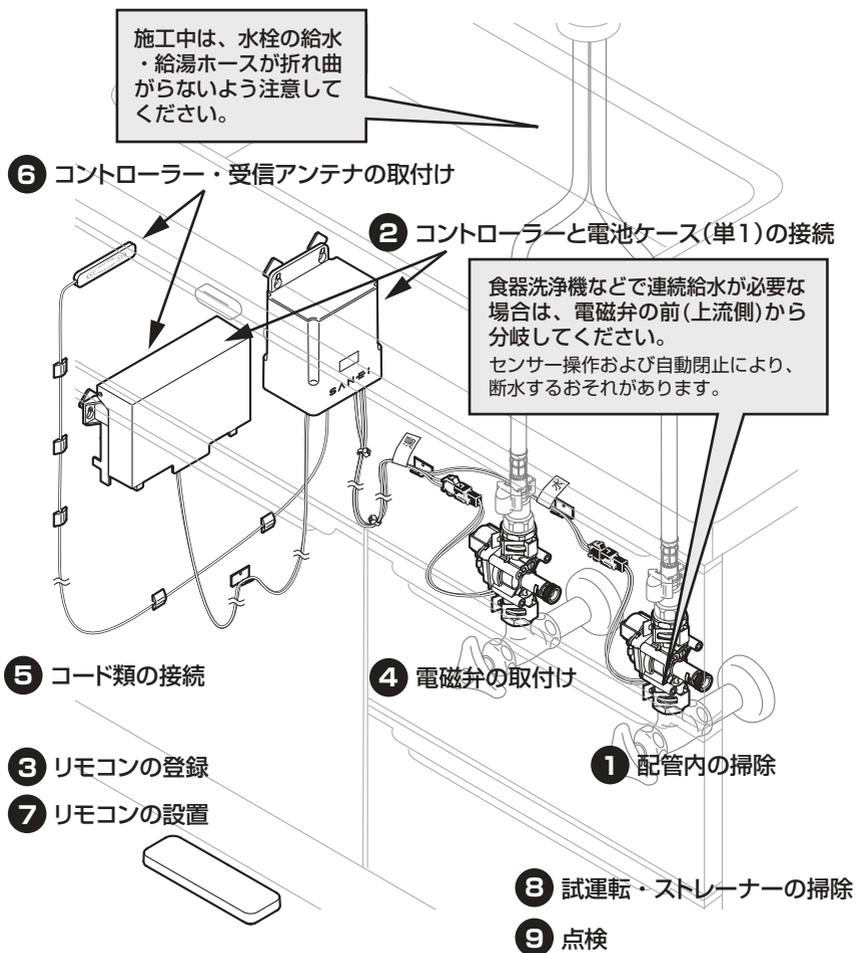
- ・カウンターが電波を阻害する材質である場合。
- ・インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。
- ・テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。
- ・リモコンと受信アンテナの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
- ・周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。
- ・食器洗浄機などの機器が近くにある場合。

- コントローラーは、電池交換ができるように、床面から離して取付けてください。

その他のご注意

- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- 給水は、上水道に接続してください。
- 施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

施工の流れ



1 配管内の掃除

注意



配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

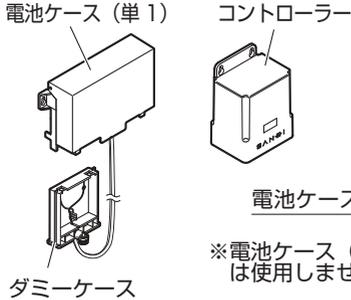
必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

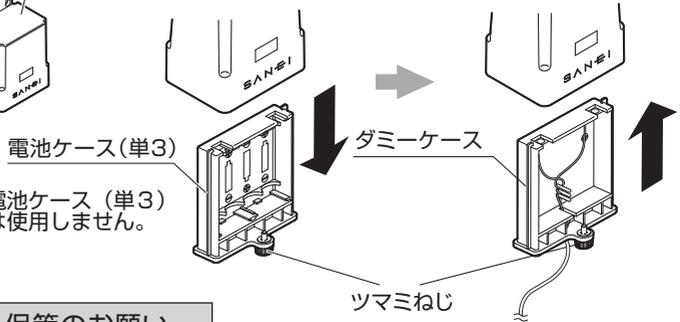
この場合には有償修理となります。

2 コントローラーと電池ケース(単1)の接続

①コントローラーと電池ケース(単1)を準備します。



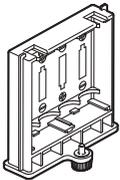
②コントローラー下部のツマミねじを緩め、電池ケース(単3)を抜き出し、電池ボックスに付属のダミーケースをコントローラーの奥までしっかりと差し込みます。



電池ケース(単3) 保管のお願い

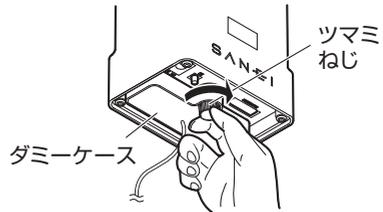
電池ケース(単3)は、本製品の標準仕様では使いませんが、ACアダプター(別売)を使用する際に必要となりますので、お客様に保管いただきますようお願いいたします。

(電池ケース(単3)単品での販売は行っておりません。)



ACアダプター(別売)を使用する際に必要

③ツマミねじで固定します。



3 リモコンの登録(ペアリング)

※リモコン登録のための手順です。操作しやすい場所で行ってください。

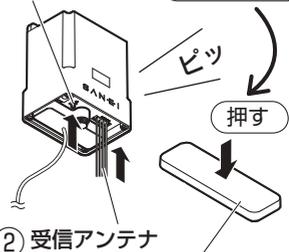
①コントローラーに受信アンテナを付けます。

⑤コード類の接続 参照

②コントローラーの手動スイッチを押した状態で、登録するリモコンを押します。
コントローラーより、「ピッ」という音が鳴れば完了です。

- ※ リモコンにはIDコードが登録されています。IDコードをコントローラーに登録しないと、リモコンを使用することができません。
- ※ ①・②の動作をもう一度行くと解除されます。
- ※ リモコンは、最大4台まで設置可能です。

① 手動スイッチ 押しながら



② 受信アンテナコード 登録するリモコン

登録	「ピッ」短い音
削除	「ピーッ」長い音

4 電磁弁の取付け

- ①湯側・水側止水栓※に、電磁弁・ストレーナを取付けます。

※お客様の使用条件によっては★の位置に止水栓以外の機器を取付ける場合があります。

⚠ 注意

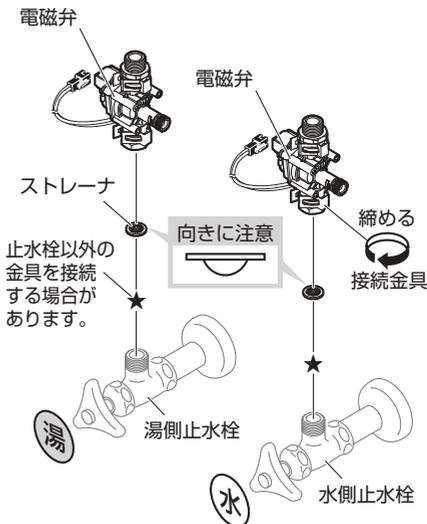
- あらかじめ、止水栓の湯側・水側を確認してください。

湯側・水側を間違えて取付けると、水を出そうとしても、湯が出てやけどをするおそれがあります。

- ストレーナの向きに注意してください。

- 食器洗浄機などで連続給水が必要な場合は給水管を電磁弁の前(上流側)から分岐してください。

リモコン操作によって、断水される恐れがあります。



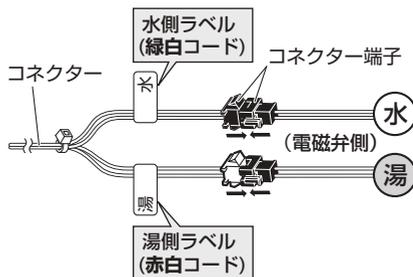
- ②コネクターの湯側・水側コネクタ端子を、電磁弁の湯側・水側コネクタ端子にそれぞれ接続します。

⚠ 注意

- コネクタを接続する際は、湯側・水側を間違えないように注意してください。

湯側・水側を間違えて取付けると、湯が先に出てやけどをするおそれがあります。

- コネクタ端子は、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

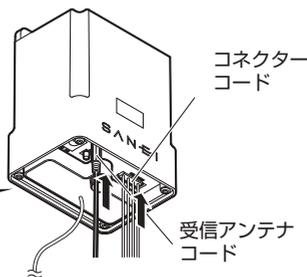
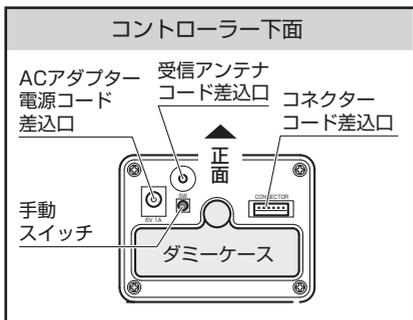


- ③電磁弁に水栓を取付けます。

※取付方法については、水栓の施工説明書をご覧ください。

5 コード類の接続

コネクタ、受信アンテナのコードを、それぞれコントローラ下面の差込口に確実に差し込みます。



手動スイッチ

手動スイッチは「リモコンのID増設・削除」・「吐水・止水」を手動で切替えることが可能です。吐水後に操作しなかった場合、およそ5分後に自動で止水します。通水確認時に使用してください。

6 コントローラー・電池ボックス・受信アンテナの取付け

⚠ 注意

●コントローラーは、電磁弁よりも高い位置に取付けてください。

結露した水や漏水した水が、コードを伝ってコントローラーが濡れるおそれがあります。

●次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。

- ・ カウンターが電波を阻害する材質である場合。
- ・ インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。
- ・ テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。
- ・ リモコンと受信アンテナの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
- ・ 周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。
- ・ 食器洗浄機などの機器が近くにある場合。

●コントローラーは、上下逆向きや横向きに取付けしないでください。

●受信アンテナは、金属面に取付けたり、鍋やアルミ箔などの金属で覆わないでください。
電波の受信ができず、動作しない原因となります。

●受信アンテナは、扉や引き出しなど開閉する際に動く箇所や、物や身体が頻繁に触れるような箇所には取付けしないでください。

コードの断線や故障の原因となります。

●フック・受信アンテナを貼付けるときは、貼付面の汚れをきれいに拭き取ってください。

また、何度も取りはずさないでください。

取付面の強度が落ち、落下の原因になります。

①コントローラーをフック(2個)または取付ねじ(2本)で、キャビネットの内壁(横の面、もしくは奥の面)に取付けます。

②受信アンテナを、リモコン取付位置から1m以内にと取付けてください。

リモコンの取付位置については、お客様とご相談ください。



⚠ 注意

コントローラーは、ダミーボックスが外せるように、床面から離して取付けてください。

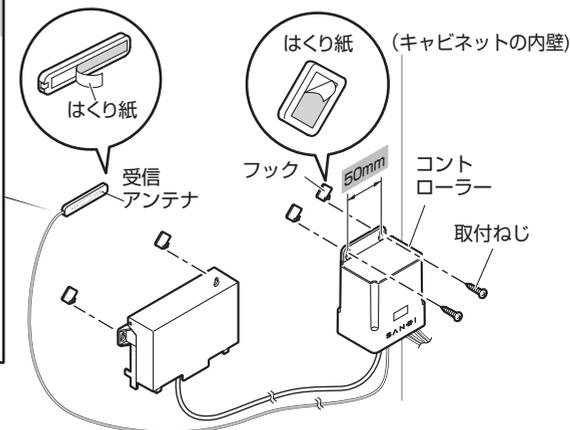
取付例



取付けては
いけない箇所

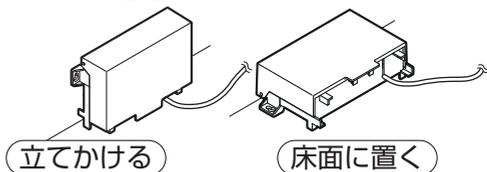
- ・ 扉や引き出しなど可動部
- ・ 物や身体が頻繁に触れるような箇所

キャビネット内壁



③電池ボックスを、下記のいずれかの方法で電池交換しやすい場所に設置します。

- ・ キャビネットの内壁に立てかける。
- ・ キャビネットの床面に置く。
- ・ フック(2個)で取付ける。



④コードクランプ・アンテナカバーを使って、コード類をキャビネットの内壁に固定してください。

⚠ 注意

- コネクター端子は結露した水で濡れないように、電磁弁よりも高い位置になるようにコードを固定してください。
- 電源コードを伝って電池ケース（単1）に水が入らないよう、電池ケース（単1）付近で必ず床に触れるようにしてください。

- コード類は通水部や高温部（湯側電磁弁）に触れないように固定してください。



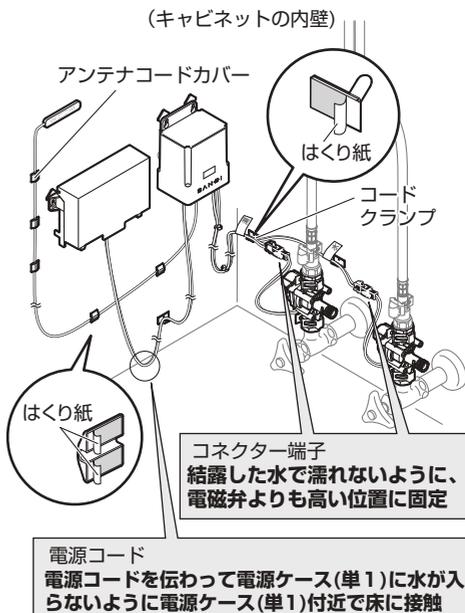
- コード類を固定する際は、できるだけキャビネットの内壁に添わせ、扉や引き出しなどに挟まらないように注意してください。

コード類が浮いていると、扉や引き出しの開閉時にコードが挟まり、コードの断線や故障の原因となります。

- コードクランプ・アンテナコードカバーを貼付するときは、貼付面の汚れをきれいに拭き取ってください。

汚れのまま貼付けると、取付面の強度が落ち、落下の原因になります。

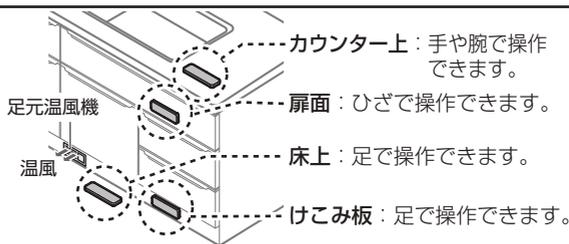
- コードクランプ・アンテナコードカバーは、何度も取りはずさないでください。取付面の強度が落ち、落下の原因になります。



7 リモコンの設置

リモコンの取付位置については、お客様とご相談ください。

取付例



⚠ 注意

P6「施工に関する安全上のご注意」の

リモコンを磁石で取付ける場合の注意事項

リモコンを粘着シートで取付ける場合の注意事項

と併せてご確認ください。

- リモコンは落下しないように、必ず固定してご使用ください。落下させると、リモコンが破損する原因になります。

- 設置場所によって電波を受信しにくいことがありますので、固定前に動作を確認してから取付けてください。電波を受信しにくい場合は、受信アンテナを外に出すか、受信アンテナまたはリモコンの取付位置を変えてみてください。

- リモコンは受信アンテナから1m以内の範囲に設置してください。

- 次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。

- ・カウンターが電波を阻害する材質である場合。
- ・インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。
- ・テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。
- ・リモコンと受信アンテナの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
- ・周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。
- ・食器洗浄機などの機器が近くにある場合。

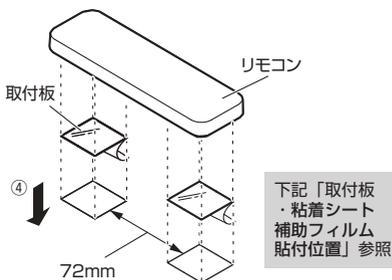
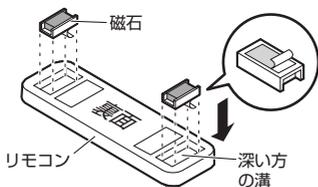
- 足元温風機と併設する場合は、温風が直接リモコンに当たらないように横にずらして取付けてください。

- リモコンは、銅やアルミ箔などの金属で覆わないでください。電波の受信ができず、動作しない原因になります。

- ①リモコンに電池を入れます。※取扱説明書 P29~30参照
下記の表を参考に、取付方法を選択してください。

取付方法	取付ける場所	備考
磁石	磁石で取付できる場所	取付面が傷つきにくい場所におすすめです。
磁石+取付板	磁石で取付できない場所 傷がつきやすい場所	取付面が傷つきやすい場合におすすめです。
粘着シート	磁石が使用できない場所	電池交換時、粘着シートを貼りかえる必要があります。 貼替時の粘着シートはお客様でご準備ください。

磁石で取付ける場合



磁石は、一度貼付けるとははずすことができません。
リモコンを取付ける際は、磁石・粘着シートのどちら
で取付けるのが適切か、慎重にご判断ください。

- ②磁石(2個)のはくり紙をはがし、リモコン裏面の
外側の溝(深い方の溝)に貼付けます。
③リモコン取付位置に、リモコンを取付けます。

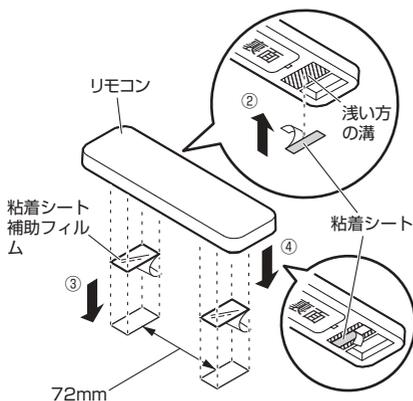
※ 床には取付けしないでください。取付面を傷つける原因になります。

【磁石+取付板で取り付ける場合】

- ④取付板(2枚)のはくり紙をはがし、リモコン取付位置に
貼付けます。

※ 取付板を貼付けるときは、貼付け面の汚れをきれいに拭き
取ってください。
※ 取付板の間は、72mm空けてください。
(下記「取付板・粘着シート補助フィルム貼付位置」参照)
※ 取付板を貼付ける際は、リモコン取付位置を確認しながら、
ズレのないように慎重に貼付けてください。
※ 残った取付板は、お客様にお渡し頂き、なくさないように
保管する旨をお伝えください。

粘着シートで取付ける場合



下記「取付板・粘着シート補助フィルム貼付位置」参照

- ②粘着シート(2枚)の片面のはくり紙をはがし、リモコン
裏面の内側の溝(浅い方の溝)の範囲内に貼付けます。

※ 粘着シートは、溝からはみ出さないように貼付けてください。

- ③粘着シート補助フィルム(2枚)のはくり紙をはがし、リモ
コン取付位置に貼付けます。

※ 粘着シート補助フィルムを貼付けるときは、貼付け面の汚れ
をきれいに拭き取ってください。
※ 粘着シート補助フィルムの間は、72mm空けてください。
(下記「取付板・粘着シート補助フィルム貼付位置」参照)
※ 粘着シート補助フィルムを貼付ける際は、リモコン取付位置
を確認しながら、ズレのないように慎重に貼付けてください。
※ 残った粘着シート補助フィルムは、お客様にお渡し頂き、な
くさないように保管する旨をお伝えください。

- ④リモコン裏面の粘着シートのはくり紙をはがし、粘着シ
ート補助フィルムの上に貼付けます。

※ 粘着シート補助フィルムの上に貼付けると、リモコンを
しっかり固定できます。
※ 粘着シートが、粘着シート補助フィルムからはみ出さな
いように貼付けてください。

取付板・粘着シート補助フィルム貼付位置

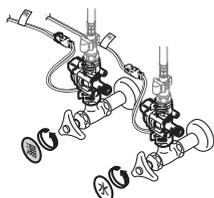
取付板・粘着シート補助フィルムをグレーの位置にそろえて貼付けてください。

72mm

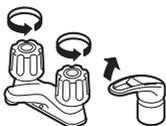
8 試運転・ストレーナーの掃除

1. 試運転

①湯側・水側の止水栓を開けます。

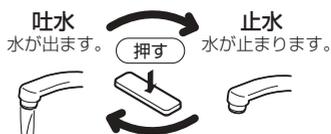


②水栓のハンドル(レバー)を開けてください。



※ ハンドル(レバー)で、あらかじめ流量と温度を調節しておいてください。

③リモコンを押すと、その都度吐水・止水が切替わります。

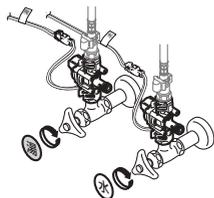


※ 水側・湯側ともに給水・給湯されているか確認してください。

2. ストレーナーの掃除

ストレーナーが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。お客様にも定期的に掃除していただくようにご説明願います。

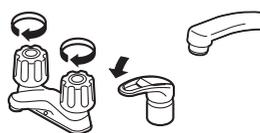
①湯側・水側の止水栓を閉めます。



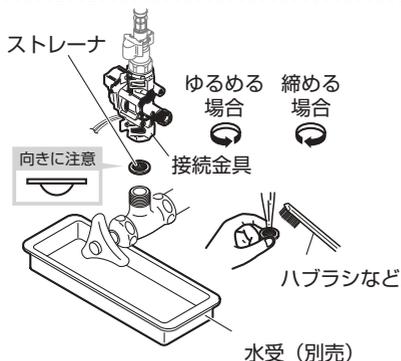
②水栓のハンドル(レバー)を開け、通水状態にします。こうすることで、水栓内部の圧力を抜きます。



③ハンドル(レバー)を閉じます。



※ シングルレバー混合栓の場合は、ハンドル(レバー)を湯・水の中央位置で開閉してください。



④電磁弁下部の取付金具をゆるめます。

⑤電磁弁を上につらし、ストレーナを取出します。

※ 作業の際は、止水栓の下に水受(別売)を設置してください。

※ ストレーナは、湯側・水側の2カ所あります。

※ 湯側のストレーナをははずす際は、高温の湯が出る場合がありますのでご注意ください。

⑥ストレーナーに詰まったごみや汚れを、ハブラシなどで取除きます。

⑦ストレーナーを取付け、接続金具を締めます。

※ ストレーナの向きに注意してください。

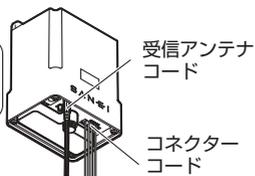
⑧止水栓を調節しながら開けます。

9 点検

コード類の点検

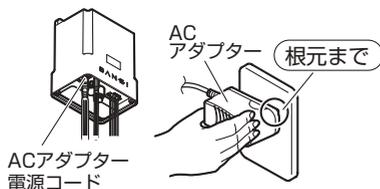
コード類は、確実に接続されていますか？

確実に接続されていることを確認



【ACアダプター（別売）をご使用の場合】

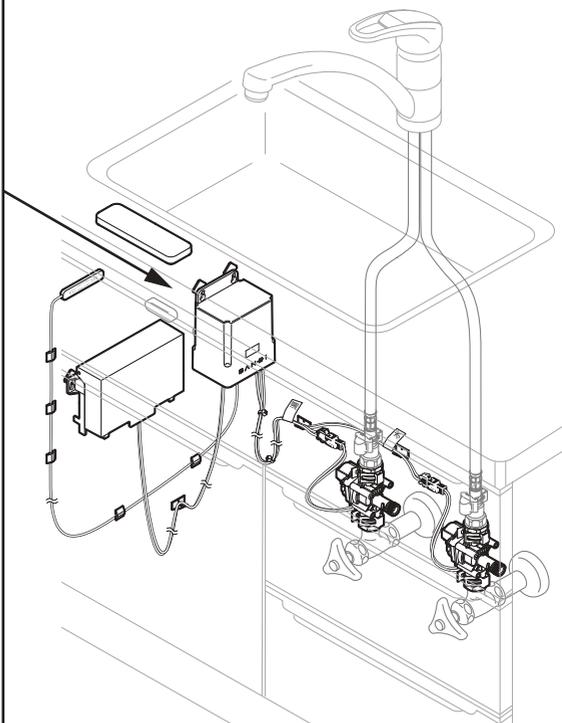
- ① ACアダプターのコードが確実に接続されていることを確認してください。
- ② コンセントにACアダプターが根元まで確実に差し込まれていることを確認してください。



- コネクター端子が電磁弁よりも高い位置になるように固定されていますか？
- 湯側電磁弁やその周辺に、コード類が触れていませんか？



施工完了後、各部を確認してください。



流量調節・温度調節がうまくできない場合

止水栓は調節されていますか？

→ 止水栓で流量を調節してください。



ストレーナのごみ詰まりはありませんか？

→ ストレーナの掃除をしてください。

B 試運転・ストレーナの掃除 参照

リモコンを押しても止水できない場合

電磁弁が強制開放されている状態になっていませんか？

→ 電磁弁の栓棒を元に戻します。（※）

【栓棒の戻し方】

電磁弁の栓棒を反時計回りに当たりまで回してください。

※ 湯側を操作する際は熱くないことを確認してください。



（※）停電時等に電力供給が遮断され、かつバックアップ電池での作動ができない状態に陥った場合を想定し、緊急措置として水を出せる状態にするためのものです。

給水・給湯ホースの点検

水栓の給水・給湯ホースが極端に折れ曲がっていませんか？

キャビネット内の点検

キャビネット内の扉や引き出し、収納物などが、コード類や各部品を圧迫していませんか？

電磁弁の点検

●水漏れはないですか？

→ 水漏れがある場合、電磁弁を取付け直してください。

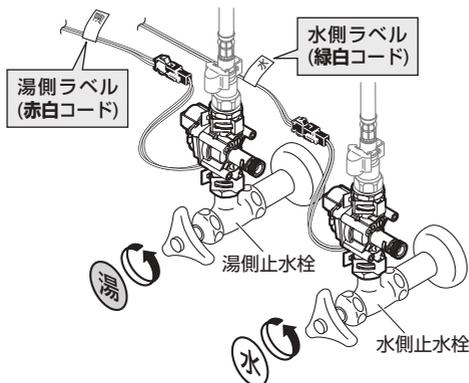
② 電磁弁の取付け 参照

●水側・湯側は正しく接続されていますか？

→ 正しく接続されていない場合、電磁弁を取付け直してください。

② 電磁弁の取付け 参照

●湯側・水側止水栓は開いていますか？



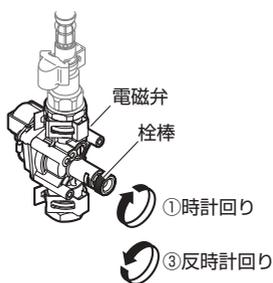
本誌
施工・取扱説明書は
必ずお客様に
お渡しください。

吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)する場合

電磁弁にエアが入っていませんか？

→ 電磁弁の栓棒を元に戻します。(※)

- ① 電磁弁の栓棒を時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ② 30秒程度連続吐水させます。
・ 止水栓が開いていれば、リモコン操作をしなくても吐水します。
- ③ 電磁弁の栓棒を反時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ④ 手順①～③を3回繰り返します。
- ⑤ 吐水口本体に手を触れて、吐水および止水させ、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)が無いことが確認できれば完了です。



(注) 以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、取扱説明書P37～38「故障?その前に」をご確認ください。

ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 警告** 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  「注意しなさい！」（上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  「水や液体をかけたり、浸けてはいけません！」
-  「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」
-  「触れてはいけません！」
-  「分解してはいけません！」
-  「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
-  「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

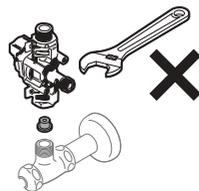
警告



本製品は、日本国内のキッチン・洗面用です。それ以外の条件下では使用しないでください。



この商品を構成する部品以外の取付けや、部品の取りはずしなどの改造はしないでください。故障や感電の原因になります。また、商品の性能を損ない、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器や医療機器の近くで使用しないでください。

自動制御機器やペースメーカー、その他医療機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。当該の医療機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。なお、このリモコンは微弱電波無線機器に該当し、出力は315MHz帯、500 μ V/m以下です。

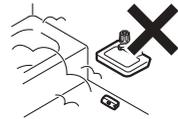
警告



浴室や屋外など湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。

禁止

故障や感電の原因になります。



絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

禁止

火災や感電の原因になります。



リモコンを調理機器などで加熱しないでください。また、加熱直後の調理器具など、熱のある部分に接触させたり、熱源の近くに置いたりしないでください。

禁止

やけどや故障の原因になります。



湯側電磁弁とその周辺に、直接肌を触れないでください。

禁止

給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。



湯水を使う前に、必ず手で適温であることを確かめてください。

必ず実行

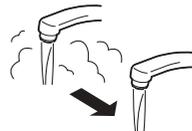
高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。

必ず実行

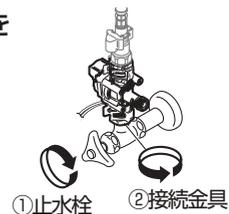
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



ストレーナの掃除をする際は、いきなり接続金具をゆるめずに、止水栓を閉めてから行ってください。また、湯側電磁弁が熱くないことを確認してください。

必ず実行

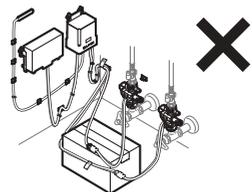
高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P14



収納物などを収納する際は、コード類に引っ掛からないように注意してください。

必ず実行

コードが断線し、感電・故障の原因となります。

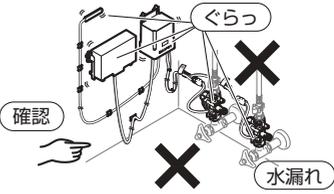


警告



必ず実行

定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

下記のものは、子供が飲み込まないように注意してください。

- 電池 ●磁石 ●アンテナカバー
- ねじ ●フック ●コードクランプ
- 粘着シート・粘着シート補助フィルム

万一、飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。



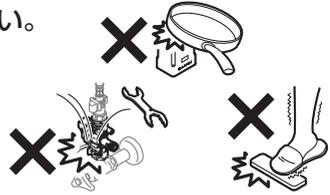
禁止

製品に強い力や衝撃を与えないでください。

【してはいけない例】

- 固いものをぶつける
- 重いものを載せる
- 過度な体重をかける・もたれる

故障や漏水の原因になります。

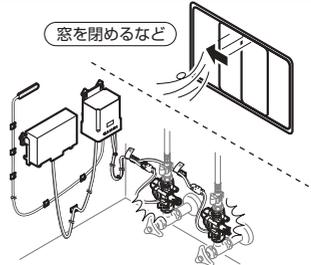


禁止

屋外や凍結が予想される場所では使用しないでください。

部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

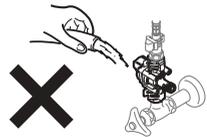
凍結のおそれがある場合は、保温材を巻くなど、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。



禁止

電磁弁・コントローラー・コード類・ACアダプター（別売）に水や洗剤、汚水をかけないでください。

火災や感電の原因になります。



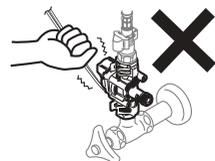
禁止

コード類やACアダプター（別売）が破損するようなことをしないでください。

【してはいけない例】

- 傷つける ●加工する ●無理に曲げる
- ねじる ●引っ張る ●重いものを載せる
- 挟み込む ●加熱する

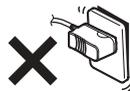
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



警告



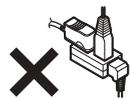
【ACアダプター（別売）をご使用の場合】
ガタついているコンセントは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



【ACアダプター（別売）をご使用の場合】
指定された電源(AC100V)以外で使用しないで
ください。
火災の原因になります。



【ACアダプター（別売）をご使用の場合】
コンセントや配線器具の定格を超える使い方は
避けてください。
火災の原因になります。



【ACアダプター（別売）をご使用の場合】
電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わないで
ください。
火災や感電の原因になります。



【ACアダプター（別売）をご使用の場合】
雷が発生しているときは、ACアダプターに
触らないでください。
感電の原因になります。



【ACアダプター（別売）をご使用の場合】
ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
感電の原因になります。



必ず実行

【ACアダプター（別売）をご使用の場合】
ACアダプターを抜くときは、必ずACアダ
プター本体を持って抜いてください。
火災や感電の原因になります。



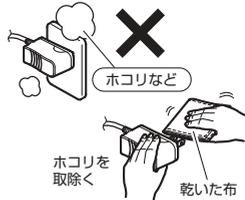
必ず実行

【ACアダプター（別売）をご使用の場合】
ACアダプターをコンセントに差し込むときは、
根元まで十分差し込んでください。
火災や感電の原因になります。



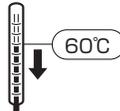
必ず実行

【ACアダプター（別売）をご使用の場合】
ACアダプターについてのホコリは、
取除いてください。
ACアダプターの端子にホコリがたまると、湿気など
で絶縁不良となり、火災の原因になります。
ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。



禁止

給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。
高温の湯が出るとやけどをするおそれがあります。また、60℃以上で
ご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによる
やけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。



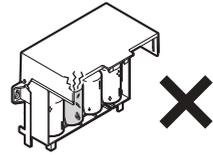
⚠ 注意



禁止

新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因になります。



必ず実行

ご使用後は、水栓のハンドル（レバー）を閉めてください。

不意にリモコンが反応し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

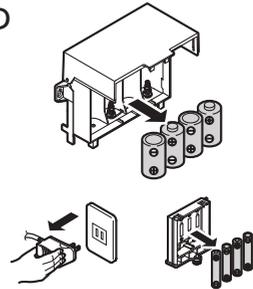
長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉め、下記のことを行ってください。

●電池ボックス（単1）の電池を取りはずす
（参照：P31～32）

誤作動や故障などによる予想しない事故や、電池の液漏れによるけがや周囲を汚損する原因になります。

【ACアダプター（別売）の場合】

- ACアダプターを抜く
- コントローラーの電池を取りはずす（参照：P43）



禁止

本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

【使用してはいけないもの】

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど
本体の割れや変色変質の原因となります。

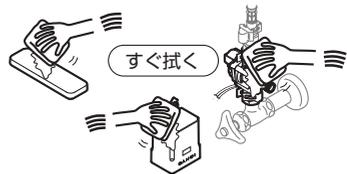
使用してはいけないものの例



必ず実行

水滴や泡・洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。

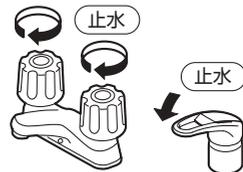
本体の割れや変色変質の原因となります。



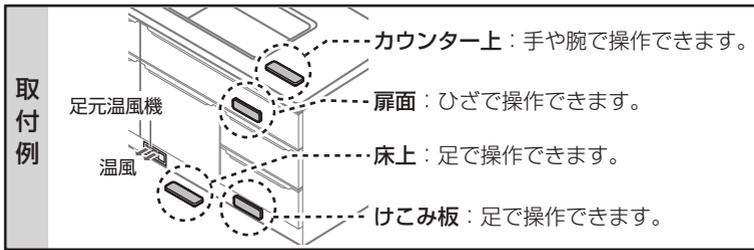
必ず実行

リモコンをはずしたり、移動したりする際は、水栓のハンドル（レバー）を閉めてください。

不意にリモコンが押され、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



ご使用について リモコンの設置



⚠ 注意

P6「施工に関する安全上のご注意」の

リモコンを磁石で取付ける場合の注意事項

リモコンを粘着シートで取付ける場合の注意事項

と併せてご確認ください。

●リモコンは落下しないように、必ず固定してご使用ください。落下させると、リモコンが破損する原因になります。

●設置場所によって電波を受信しにくいことがありますので、固定前に動作を確認してから取付けてください。電波を受信しにくい場合は、受信アンテナを外に出すか、受信アンテナまたはリモコンの取付位置を変えてみてください。

●リモコンは受信アンテナから1m以内の範囲に設置してください。

●次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。

- ・カウンターが電波を障害する材質である場合。
- ・インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。
- ・テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。
- ・リモコンと受信アンテナの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
- ・周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。
- ・食器洗浄機などの機器が近くにある場合。

●足元温風機と併設する場合は、温風が直接リモコンに当たらないように横にずらして取付けてください。

●リモコンは、鍋やアルミ箔などの金属で覆わないでください。電波の受信ができず、動作しない原因になります。

1 リモコンに電池を入れます。参照：P29～30

2 リモコンを取り付けます。参照：P14

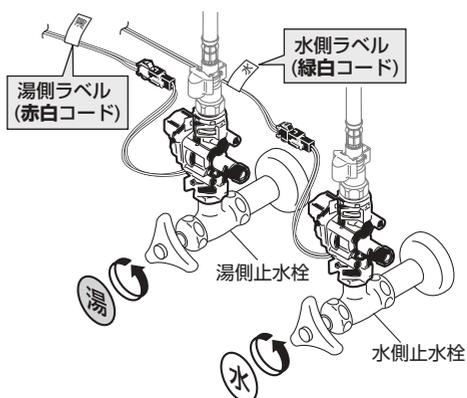
下記の表を参考に、取付方法を選択してください。

取付方法	取付ける場所	備考
磁石	磁石で取付できる場所	取付面が傷つきにくい場所におすすめです。
磁石+取付板	磁石で取付できない場所 傷がつきやすい場所	取付面が傷つきやすい場合におすすめです。
粘着シート	磁石が使用できない場所	電池交換時、粘着シートを貼りかえる必要があります。貼替時の粘着シートはお客様でご準備ください。

3 リモコンの作動を確認します。参照：P25

電磁弁・キャビネット内の確認

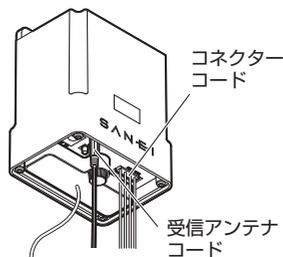
- 水側・湯側は正しく接続されていますか？
- 湯側・水側止水栓は開いていますか？
- キャビネット内の引き出しや収納物などが、コード類や各部品を圧迫していませんか？



コード類の確認

- コード類は、確実に接続されていますか？

コネクター、受信アンテナのコードが確実に接続されていることを確認してください。



【ACアダプター（別売）をご使用の場合】

- ACアダプターは、確実に接続されていますか？

- ①ACアダプターのコードが確実に接続されていることを確認してください。
- ②コンセントにACアダプターが根元まで確実に差し込まれていることを確認してください。

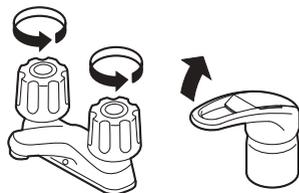


湯側電磁弁やその周辺には、コード類が触れないように注意してください。

給湯側のため高温になっており、劣化の原因になります。



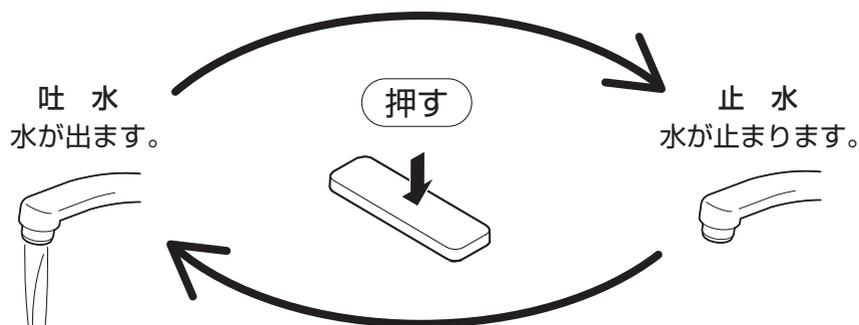
ご使用前に



水栓のハンドル(レバー)を開けてください。

※ ハンドル(レバー)で、あらかじめ流量と温度を調節しておいてください。

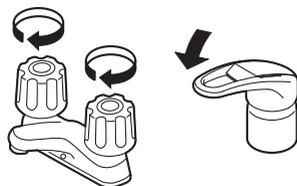
ご使用中は



- ※ リモコンに強い力や衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- ※ リモコンのスイッチを長時間押したままで使用すると、リモコンの電池が早く消耗する原因となります。
- ※ 吐水後に操作をしなかった場合、およそ5分後に自動で止水します。

ご使用後は

水栓のハンドル(レバー)を閉めてください。



長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉め、下記のことを行ってください。

- 電池ボックス(単1)の電池を取りはずす
(参照：P31～32)

誤作動や故障などによる予想しない事故や、電池の液漏れによるけがや周囲を汚損する原因になります。

【ACアダプター(別売)の場合】

- ACアダプターを抜く
- コントローラーの電池を取りはずす(参照：P43)

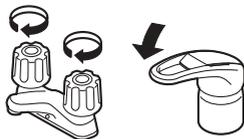
ご使用について リモコンのペアリング

リモコンを増設すると、対面キッチンの両側など、複数の場所から水を出し止めすることができます。

別売のリモコン（品番：MEK800-5F1S）をお求めいただいた場合は、リモコンのIDコードをコントローラーに登録してください。

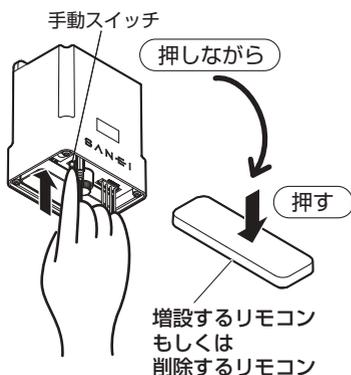
また、登録したIDコードを削除すると、そのリモコンの使用を中止することができます。

作業の前に



水栓のハンドル（レバー）を閉めてください。

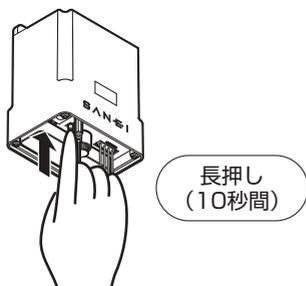
増設・削除



- 1 コントローラーの手動スイッチを押した状態で、増設（もしくは削除）するリモコンを押します。
- 2 コントローラーより、（増設の場合）「ピッ」（削除の場合）「ピーッ」という音が鳴れば完了です。

※ リモコンにはIDコードが登録されています。IDコードをコントローラーに登録しないと、リモコンを使用することができません。
※ リモコンは、最大4台まで設置可能です。

登録したIDコードの全削除



- 1 コントローラーの手動スイッチを長押し（10秒間）します。
- 2 コントローラーより、「ピーッ」という音が鳴れば完了です。

※ IDコードの全削除後、再度リモコンを使用する場合は、上記「増設・削除」の手順を行い、IDコードを再登録してください。

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておく、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意

- 中性洗剤以外は使用しないでください。**
中性洗剤以外を使用すると、変色や破損のおそれがあります。
- 本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。**



禁止

【使用してはいけないもの】

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど

本体の割れや変色変質の原因となります。

使用してはいけないものの例



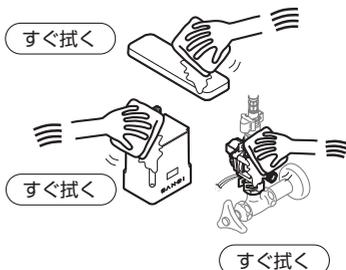
金たわし



必ず実行

水滴や泡・洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。

本体の割れや変色変質の原因となります。

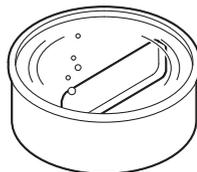


禁止

リモコンを水洗いしたり、水没させたりしないでください。

リモコン内部に水が入り、故障の原因になります。

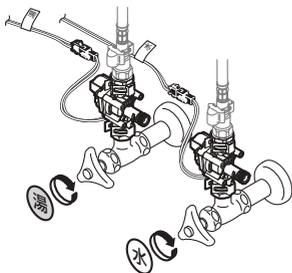
ただし、ぬれた手で操作する程度は問題ありません。



日頃のお手入れ ストレーナの掃除

ストレーナの汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

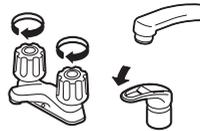
- 1** 湯側・水側の止水栓を閉めます。



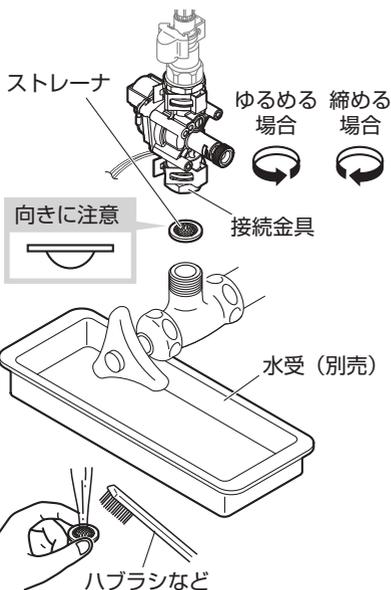
- 2** 水栓のハンドル(レバー)を開け、湯・水ともに通水状態にします。こうすることで、水栓内部の圧力を抜きます。



- 3** ハンドル(レバー)を閉じます。



※ シングルレバー混合栓の場合は、ハンドル(レバー)を湯・水の中央位置で開閉してください。



- 4** 電磁弁下部の接続金具をゆるめます。

- 5** 電磁弁を上によらずし、ストレーナを取出します。

※ 作業の際は、止水栓の下に水受(別売)を設置してください。
※ ストレーナは、湯側・水側の2箇所あります。
※ 湯側のストレーナをはずす際は、高温の湯が出る場合がありますのでご注意ください。

- 6** ストレーナに詰まったごみや汚れを、ハブラシなどで取除きます。

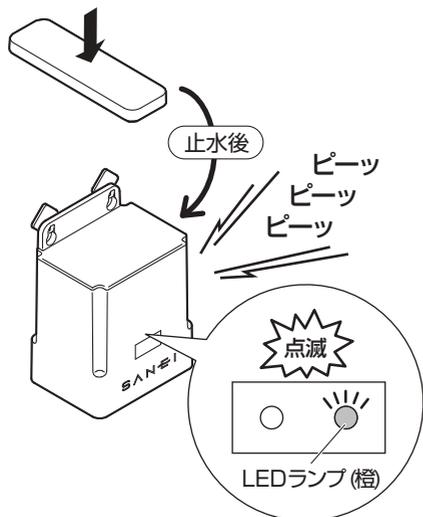
- 7** ストレーナを取付け、袋ナットを締めます。

※ ストレーナの向きに注意してください。

- 8** 止水栓を調節しながら開けます。

※ 作業終了後、必ず水漏れのないことを確認してください。

リモコンの電池は、リチウム乾電池（CR2032）を使用しています。吐水・止水の回数（吐水・止水で1回）が1日100回程度の使用で、約2年使用できます。使い方（使用頻度）や周囲の温度によっては、2年より短くなったり、長くなったりします。電池を2年以上使用している場合は早めに交換してください。



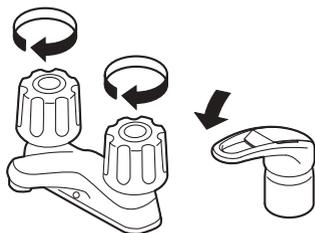
- リモコンの電池が切れかかると、止水後にコントローラーからブザーが3回鳴り、LEDランプ（橙）が点滅します。

この場合、早めに電池を交換してください。

⚠ 注意

同梱の電池は動作確認用のため、作動期間を保証するものではありません。お早めに新しい電池と交換のうえ、ご使用ください。

- 1 ハンドル（レバー）を閉じます。



- 2 リモコンを両手で持ち、ゆっくり傾けながら、回すようにはがします。

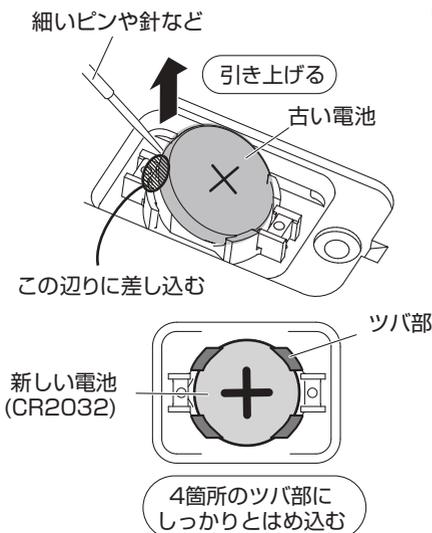
強く付いていることがあります。ゆっくり回すとはずれます。



- 3 リモコン裏面のねじ（2本）をゆるめ、電池フタをはずします。

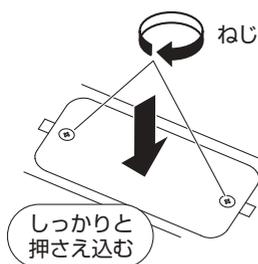
※ ねじ・電池フタを無くさないように注意してください。





- 4** 古い電池を取出し、新しい電池 (CR2032) に交換します。古い電池を細いピンや針などで上に引き上げてはまずしてください。新しい電池は、4箇所のツバ部にしっかりとめ込んでください。

- ※ 電池は極性表示に注意して、＋の方向を正しく入れてください。
- ※ CR2032以外は使用しないでください。
- ※ 電池は極性表示に注意して、＋の方向を正しく入れてください。
- ※ 使用済みの電池は、セロハンテープなどで絶縁し、不燃物のごみとして処理してください。(処理方法については、お住まいの市町村の指示に従ってください。)



- 5** 防水のため、電池フタをよく押し込んでから取付ねじ(2本)で取付けます。

- ※ リモコン内に水が入らないように注意してください。
- ※ ねじは必ず2本すべて取付けてください。水がリモコン内に入るおそれがあります。
- ※ 電池フタをはめる際は、浮きが無いようにしっかりと押さえ込んでください。

日頃のお手入れ 粘着シートの交換

リモコン裏面の粘着シートの強度が低下した場合は、市販の粘着シートをお買い求めいただき、交換してください。

- 1** リモコン裏面の粘着シートを、手でゆっくりとはがしてください。

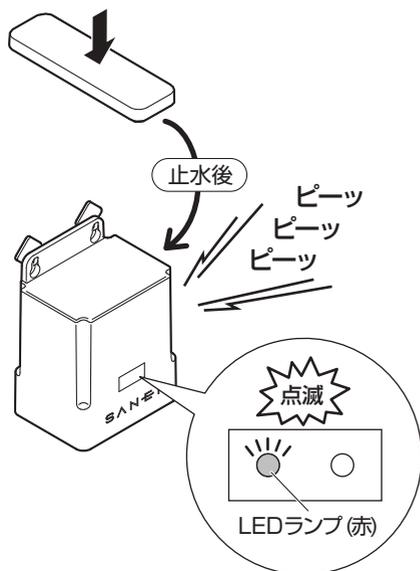


- 2** 新しい粘着シートを貼付けてください。

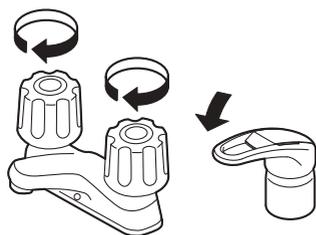
- ※ 粘着シートの貼付け面や、粘着シート補助フィルムの表面が汚れている場合は、きれいに拭き取ってください。
- ※ 粘着シートは、適切な大きさに切ってください。
- ※ 取付け位置を変更する場合や、粘着シート補助フィルムが劣化している場合は、予備の粘着シート補助フィルムを貼付けてください。

定期的な点検 電池ケース(単1)の電池交換

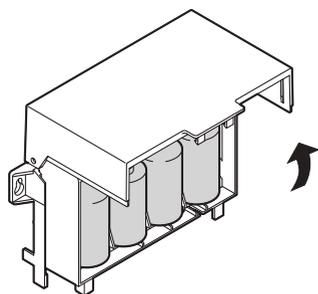
電池ケース(単1)の電池は、別売のアルカリ乾電池(単1×4本)を使用します。



- 電池ケース(単1)の電池が切れかかると、止水後にコントローラーからブザーが3回鳴り、LEDランプ(赤)が点滅します。この場合、早めに電池を交換してください。

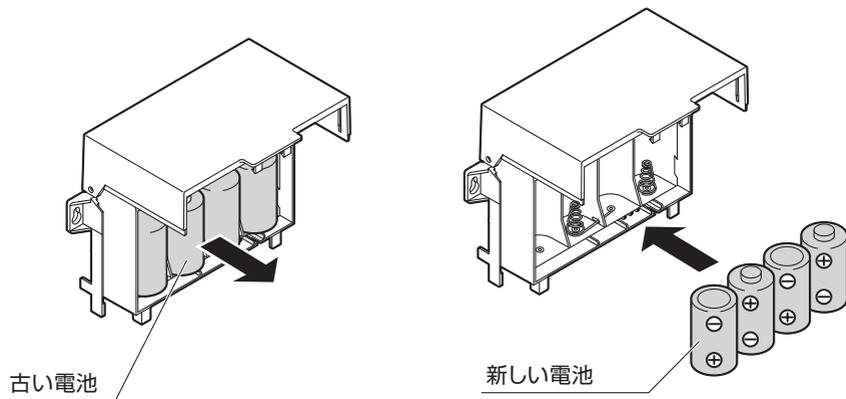


- 1 ハンドル(レバー)を閉じます。



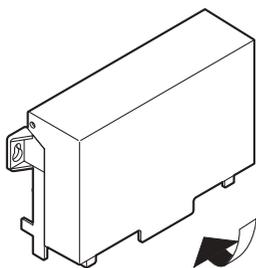
- 2 電池ケース(単1)のふたを開けます。

3 古い電池を取出し、新しい電池に交換します。



- ※ 使い切った乾電池は、早めに取り出してください。
- ※ 必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。
- ※ 充電式の乾電池は使用しないでください。
- ※ ツマミねじは、はずれやすいので無くさないように注意してください。
- ※ 電池は極性表示に注意して、＋の方向を正しく入れてください。
- ※ 新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- ※ 使用済みの電池は、セロハンテープで絶縁し、不燃物のごみとして処理してください。(処理方法については、ご住まいの市町村の指示 に従ってください。)

4 電池ケース(単1)を閉めます。



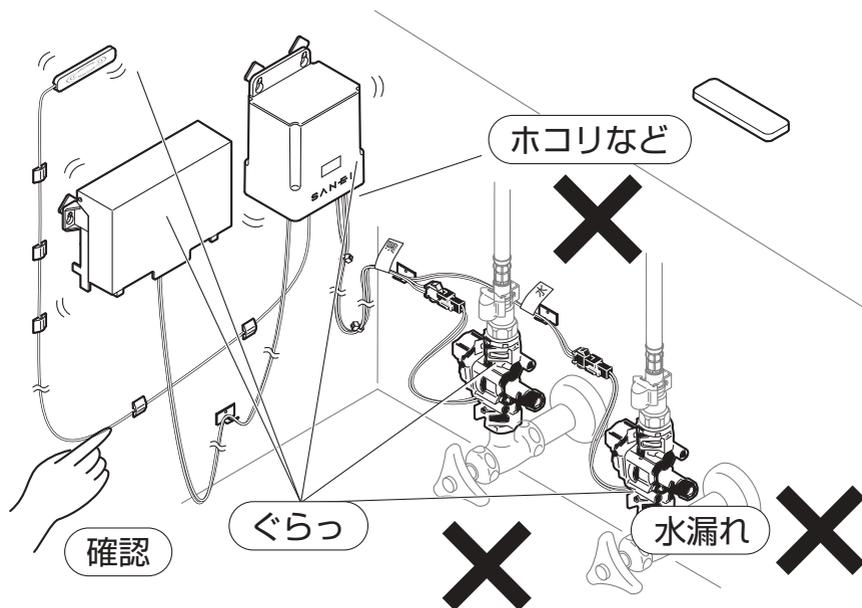
- ※ 電池ケース(単1)内に水が入らないように注意してください。

定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ・ホコリの除去

- 定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（…年2回を目安）
- 漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」（P44～45）を参照してください。
- 定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（…年2回を目安）劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【ACアダプター（別売）をご使用の場合】

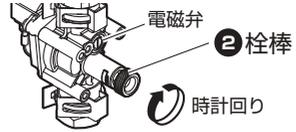
- 定期的に、ACアダプターについてのホコリを取除いてください。（…月1回を目安）ACアダプターの端子にホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布でホコリを取除いてください。



凍結予防について 寒冷地用の水抜き方法

寒冷地用において凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。
 ※取付ける水栓によって構造が異なります。詳細は水栓本体の取扱説明書を参照してください。

- 1 元栓を閉め、配管の水抜き栓を開けます。
- 2 電磁弁の栓棒を時計回りに当たりまで回転させます。



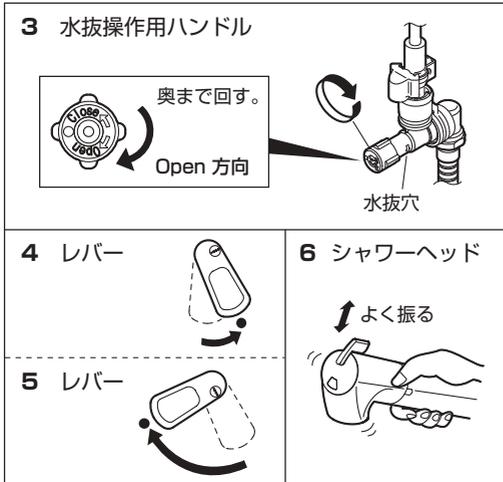
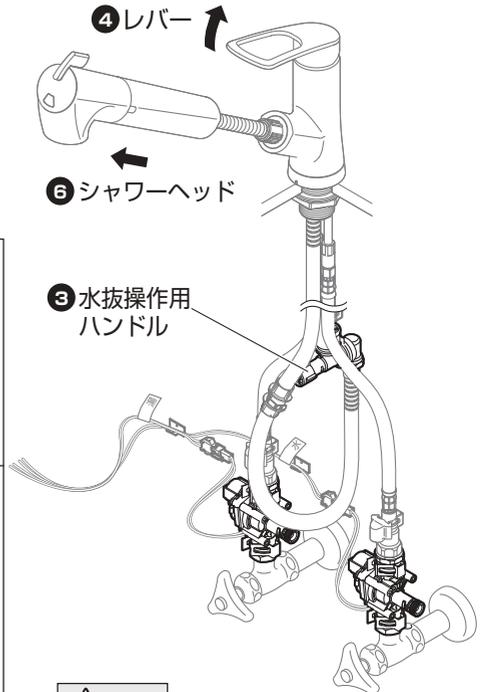
水栓に水抜きプラグがついている場合

- 3 レバーを中央位置（湯側・水側の中間）で上げます。
- 4 水抜きプラグをゆるめます。
- 5 再使用時は、水抜き手順と逆の手順で各部を戻してください。



水抜き操作ハンドルがシャワーホース接続部に設置されている場合

- 3 水抜き操作ハンドルを回す。
- 4 レバーを上げ、右側いっぱいに回します。
- 5 レバーを上げたまま、左側いっぱいに回します。
- 6 シャワーヘッドをよく振ります。



- 7 再使用時は、水抜き手順と逆の手順で各部を戻してください。

注意

●水抜き部は高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。ご注意ください。

◆電池が切れた状態で使いたいときは？

- 緊急措置として使用する場合は電磁弁を強制開放してください。

参照：下記の表

1

この状態での長期使用は機器の寿命を縮める原因になりますので、ただちに電池交換を行って通常使用に戻ってください。

◆吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)したら？

- 電磁弁からエアーを抜いてください。

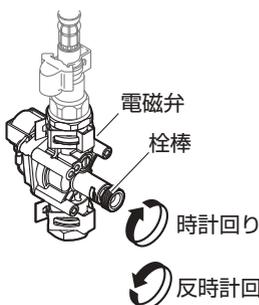
参照：下記の表

2

●電磁弁の栓棒を回し、電磁弁を強制開放します。

※ この措置は、あくまで停電時・故障時の緊急用として行ってください。

この状態での長期使用は機器の寿命を縮める原因になりますので、ただちに電池交換を行っていただくことで通常使用に戻ってください。



栓棒を時計回りに回して、電磁弁を強制的に“開”の状態にすると、通常の水栓としてご使用いただけます。

- ① 栓棒を時計回りに当たりまで回して強制開放します。
- ② ご使用の水栓のレバー操作等で吐止水を行ってください。
- ③ 停電から復旧しましたら栓棒を反時計回りに当たりまで回してください。

※ 栓棒は、当たりまで回してください。

●電磁弁を強制的に開閉してエアーを抜きます。

①の図を参考に、下記操作を行ってください。

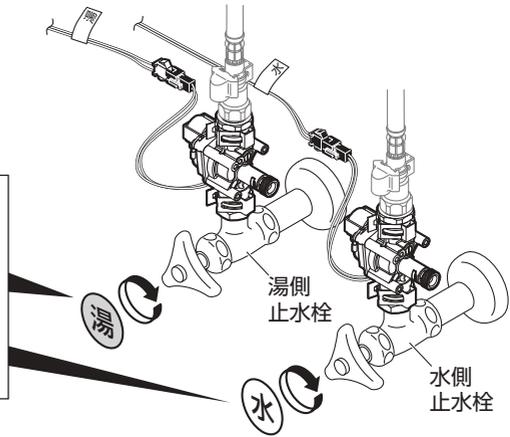
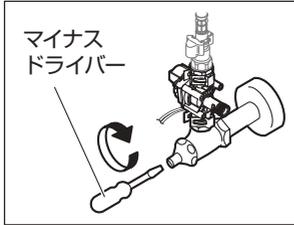
- ① 栓棒を時計回りに当たりまで回して強制開放し、30秒程度連続吐水させます。
- ② 30秒程度連続吐水させます。
- ③ 電磁弁の栓棒を反時計回りに当たりまで回します。
- ④ 手順①～③を3回繰り返します。
- ⑤ ご使用の水栓で吐止水させて、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)がないことを確認できたら完了です。

こんなときは 漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

止水栓の閉め方

カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルを回して水を止めてください。



元栓の閉め方

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。

- ※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
- ※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
- ※一部の地域では左回しの場合があります。
- ※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：

主に玄関やガレージ付近の地面にあります。

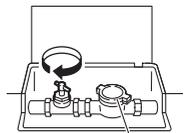
古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

●キー式



止水栓キー
SANEI 品番：
PR30A
(止水栓キー)

●ハンドル式

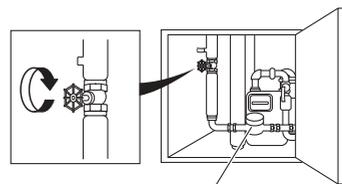


水道メーター
(量水器)

■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。

お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



水道メーター(量水器)

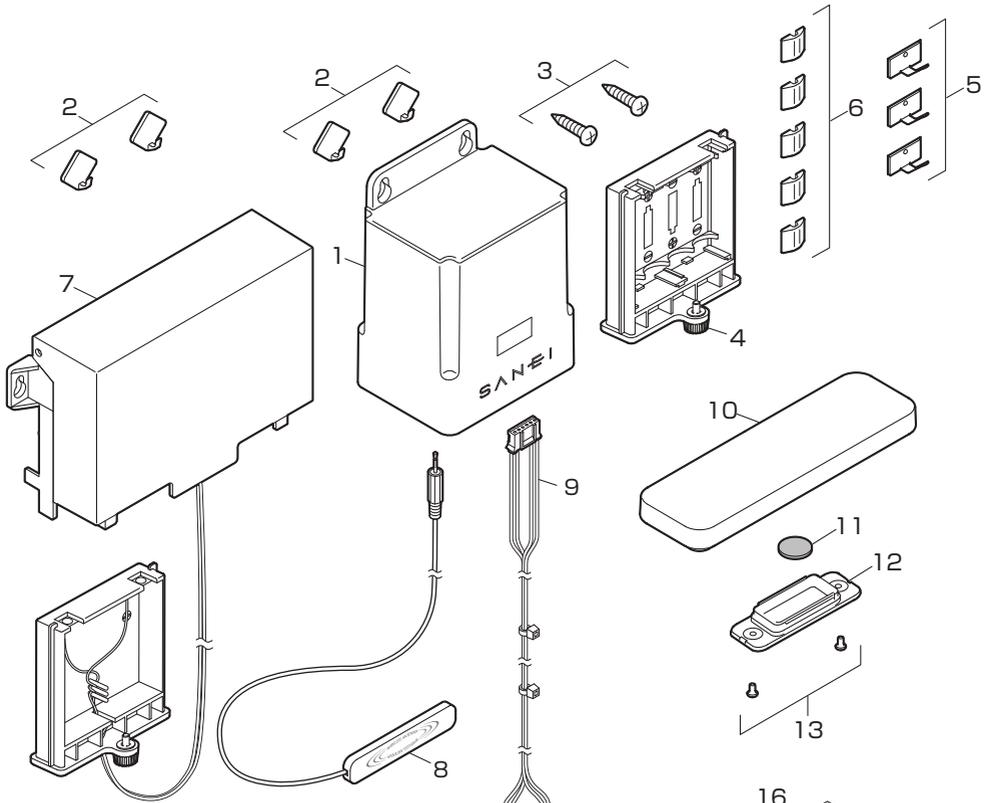
こんなときは 故障？ その前に

- 修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。
- 下記の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

現象	点検項目	処置
水が出ない	水栓のハンドル(レバー)は開いていますか。	水栓のハンドル(レバー)を開ける。
	止水栓は開いていますか。	止水栓を開く。
	ストレーナのゴミづまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。 参照：P28
	電池ケース（単1）に電池は入っていますか。	電池を入れる。 参照：P31～32
	電池ケース（単1）の電池の向きは正しいですか。	電池を正しい向きで入れ直す。 参照：P31～32
	リモコンに電池は入っていますか。	電池を入れる。 参照：P29～30
	リモコンの電池の向きは正しいですか。	電池を正しい向きで入れ直す。 参照：P29～30
	コード類は確実に接続されていますか。	コード類を確実に接続する。 参照：P24
	断水中ではありませんか。	回復するまで待つ。
	リモコンの登録（ペアリング）は終わっていますか。	リモコンを登録（ペアリング）する。 参照：P10
	リモコンと受信アンテナの距離が1m以上ではありませんか。	リモコンと受信アンテナの距離を1m以内にする。
	金属面にリモコンや受信アンテナを取付けていませんか。	金属面以外の場所に取付ける。
	リモコンと受信アンテナの間に鍋や組み込み型食器洗浄機など金属製の障害物はありませんか。	障害物を取除く。 障害物を取除けない場合はリモコンまたは受信アンテナを移動する。
	電波やインバーターを用いた他の機器が近くにありませんか。	該当する機器を遠ざける。
	水が止まらない	【ACアダプター（別売）をご使用の場合】ACアダプターはコンセントに差し込まれていますか。
【ACアダプター（別売）をご使用の場合】停電中ではありませんか。		電磁弁を強制的に開放する。 参照：P43, 35 (コントローラーの電池が切れている場合) 電池を交換する。 参照：P43
水が止まらない	リモコンまたは電池ケース（単1）の電池が切れていませんか。	リモコンの電池を交換する。 参照：P29～30 電池ケース（単1）の電池を交換する。 参照：P31～32
	【ACアダプター（別売）をご使用の場合】停電中ではありませんか。	電磁弁を強制的に開放する。 参照：P43, 35 (コントローラーの電池が切れている場合) 電池を交換する。 参照：P43

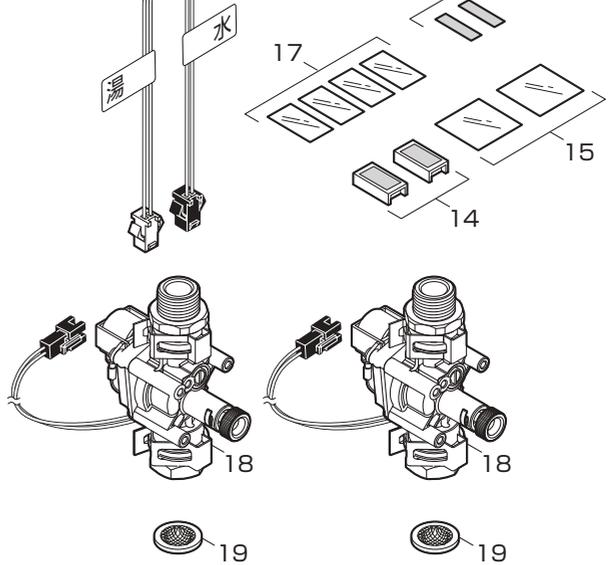
現象	点検項目	処置
水が止まらない	金属面にリモコンや受信アンテナを取付けていませんか。	金属面以外の場所に取付ける。
	リモコンと受信アンテナの間に鍋や組み込み型食器洗浄機など金属製の障害物はありませんか。	障害物を取除く。 障害物を取除けない場合はリモコンまたは受信アンテナを移動する。
	電波やインバーターを用いた他の機器が近くにありませんか。	該当する機器を遠ざける。
	電磁弁が強制解放された状態になっていませんか。	電磁弁の栓棒を反時計回りに当たりまで回す。 参照：P35
流量が少ない	止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	ストレーナのゴミづまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。 参照：P28
高温しかでない	水側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	水側のストレーナのゴミづまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。 参照：P28
低温しかでない	給湯機から十分な湯がきていますか。	給湯機の給湯温度・作動を確認する。
	湯側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	湯側のストレーナのゴミづまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。 参照：P28
温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水栓は調節されていますか。	止水栓で流量を調節する。
	給湯機から十分な湯がきていますか。	給湯機の給湯温度・作動を確認する。
	ストレーナのゴミづまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。 参照：P28
吐止水時に弁鳴り(チャタリング)する	電磁弁にエアが入っていませんか。	電磁弁を強制的に開閉する。 参照：P35
止水時水撃音が鳴る	湯側・水側の止水栓は調節されていますか。	止水栓で流量を調節する。 ※それでも直らない場合は、水撃低減器をお買い求めください。 SANEI品番：T1670-13(水撃低減器)
止水後ブザーが鳴る	リモコンまたは電池ケース(単1)の電池が切れていませんか。	リモコンの電池を交換する。 参照：P29～30 電池ケース(単1)の電池を交換する。 参照：P31～32
	【ACアダプター(別売)をご使用の場合】 リモコンまたはコントローラーの電池が切れていませんか。	リモコンの電池を交換する。 参照：P29～30 コントローラーの電池を交換する。 参照：P43

その他 本製品の構造



EK802-5X-13

1. コントローラー
2. フック
3. 取付ねじ
4. 電池ケース (単3)
5. コードクランプ
6. アンテナコードカバー
7. 電池ケース (単1)
8. 受信アンテナ
9. コネクター
10. リモコン
11. リチウム電池
12. 電池フタ
13. ねじ
14. 磁石
15. 取付板
16. 粘着シート補助フィルム
17. 粘着シート
18. 電磁弁
19. ストレーナ



その他 仕様

製品番号	EK802-5X-13	
電源	コントローラー 電池ケース(単1)	●DC 6V：(別売)アルカリ乾電池 単1形×4本 電池寿命約12ヶ月(参考値) (100回/日使用時)
	リモコン	DC 3V：リチウム電池CR2032×1個 電池寿命約2年(参考値) (100回/日使用時)
消費電力	待機時：0.5W	
	動作時：5W	
給水圧力	最低必要水圧(流動時)：0.05MPa ※ただし、組み合わせる水栓の最低必要水圧+0.03MPa (流動時)以上の水圧が必要です。	
	最高使用水圧(静止時)：0.75MPa	
使用可能水質	水道水	
使用環境温度	0℃～40℃(凍結不可)	
最高給湯温度	60℃	
給水部接続	G1/2	
用途	一般住宅台所・洗面用	
コード長さ	電磁弁+コネクター：1.1m (0.1m + 1.0m) 受信アンテナ：1.5m	

ACアダプター（別売）について 取り付けについて

取り付け前に、『施工について（P3～17）』も併せてご確認ください。

ACアダプターの仕様

品番：MEY500-10S

電源：AC100V 50/60Hz

コード長さ：1.8m

●ACアダプターは、キャビネットの内壁にぶつからない位置に取付けてください。

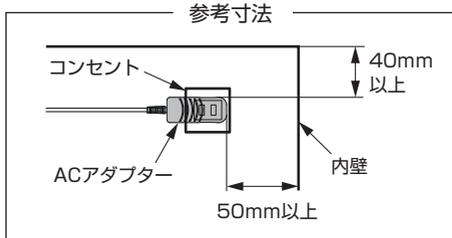
電池ケース（単3）の仕様

電源：DC6V

別売アルカリ乾電池

単3形×4本

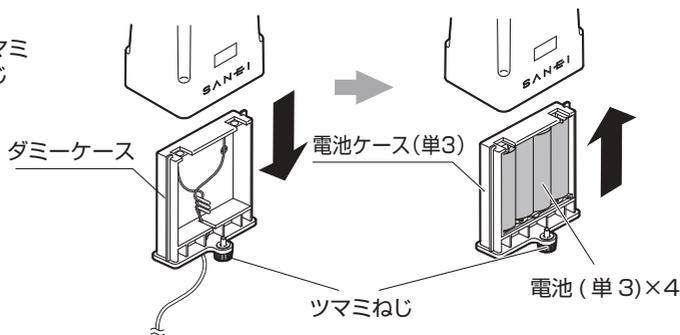
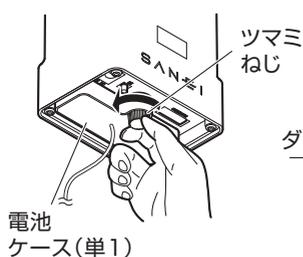
電池寿命 約2ヶ月（参考値）
（100回/日使用時）



1 電池ケース(単1)の取り外しと電池ケース(単3)への付替

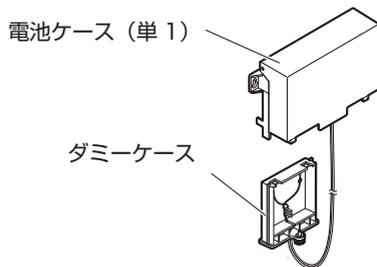
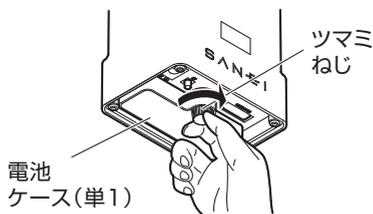
①コントローラー下部のツマミ
ねじをゆるめてください。

②ダミーケースを抜き出し、電池ケース（単3）
に電池を入れて、コントローラーの奥まで
しっかりと差し込みます。
（電池の入れ方はP43参照）



③ツマミねじで固定します。

④ダミーケース（付属）と合わせて電池
ケース（単1）を取り外します。



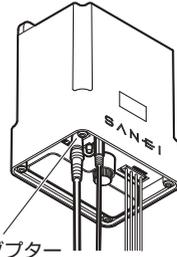
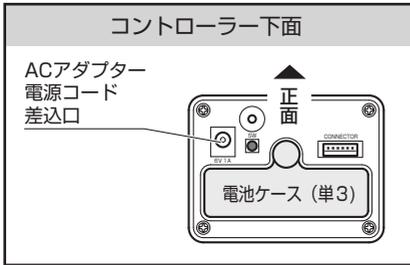
※ コントローラー内に水が入らないよう
に注意してください。

⚠ 注意

ご使用の際は、ACアダプターで
ご使用ください。
バックアップ電池のみでのご使用
はお控えください。

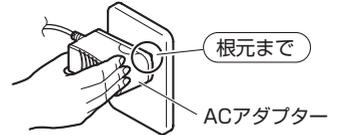
2 ACアダプターの接続

ACアダプターのコードを、コントローラー下面の差込口に確実に差し込みます。



ACアダプター電源コード

ACアダプターをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

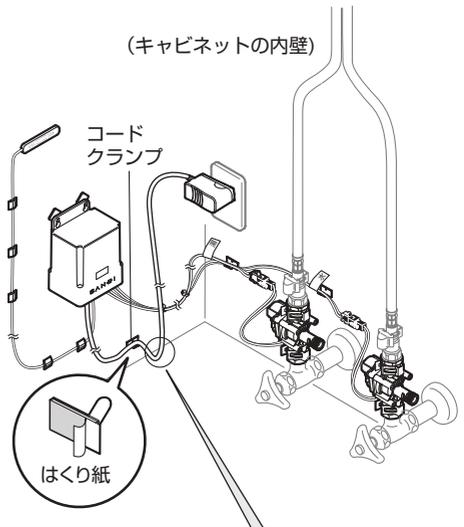


3 電源コードの固定

コードクランプを使って電源コードを固定してください。

⚠ 注意

- 電源コードを伝ってコンセントに水がかからないよう、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。
- コード類は通水部や高温部（湯側電磁弁）に触れないように固定してください。
- コネクター端子は結露した水で濡れないように、電磁弁よりも高い位置になるようにコードを固定してください。
- コード類を固定する際は、できるだけキャビネットの内壁に添わせ、扉や引き出しなどに挟まらないように注意してください。コード類が浮いていると、扉や引き出しの開閉時にコードが挟まり、コードの断線や故障の原因となります。
- コードクランプを貼付けるときは、貼付面の汚れをきれいに拭き取ってください。汚れたまま貼付けると、取付面の強度が落ち、落下の原因になります。
- コードクランプは、何度も取りはずさないでください。取付面の強度が落ち、落下の原因になります。



電源コード
電源コードを伝ってコンセントに水がかからないようにコンセント付近で床に接触

4 試運転・点検について

P15～17をご確認のうえ、試運転・点検してください。

※ご使用については、取説P18～P40と合わせてP43をご確認ください。

ACアダプター（別売）について 停電したら？

※ 停電すると、コントローラーはACアダプターでの駆動から電池駆動に切替わります。停電が復旧すると、ACアダプターでの駆動に戻ります。

※ コントローラーの電池が切れている場合は、手動スイッチを押しても作動しません。

●この場合、コントローラーの電池を交換してください。

参照：下記

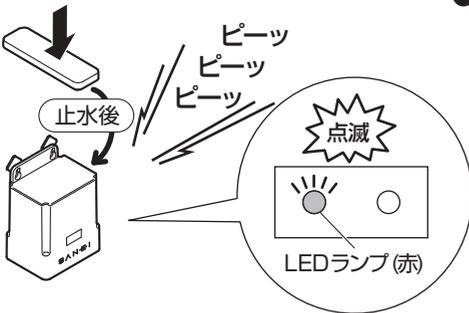
●本製品は、停電時等でもバックアップ電池により作動可能としていますが、停電時にバックアップ電池が消耗して使用できない場合は、緊急措置として、電磁弁を強制開放してください。

参照：P35 **1**

ACアダプター（別売）について コントローラーの電池交換（バックアップ用）

コントローラーの電池は、別売のアルカリ乾電池（単3×4本）を使用します。停電時や、ブレーカーが落ちるなどして主電源が切れると、バックアップとしてコントローラーの電池が電源として働き、電池を消耗します。

●コントローラーの電池が切れかかると、止水後にコントローラーからブザーが3回鳴り、LEDランプ（赤）が点滅します。この場合、早めに電池を交換してください。



⚠ 注意

ご使用の際は、ACアダプターでご使用ください。
バックアップ電池のみでのご使用はお控えください。

- ※ 使い切った乾電池は、早めに取り出してください。
- ※ 必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。
- ※ 充電式の乾電池は使用しないでください。
- ※ ツマミねじは、はずれやすいので無くさないように注意してください。
- ※ 電池は極性表示に注意して、+の方向を正しく入れてください。
- ※ 新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- ※ 使用済みの電池は、セロハンテープで絶縁し、不燃物のごみとして処理してください。（処理方法については、ご住まいの市町村の指示に従ってください。）

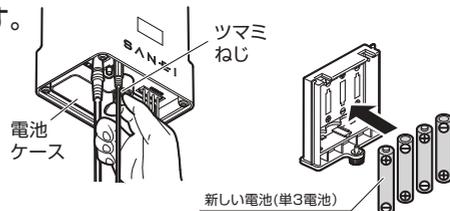
1 水栓のハンドル（レバー）を閉じます。

2 コントローラー下部のツマミねじをゆるめます。

3 電池ケースを抜き出します。

4 古い電池を取り出し、新しい電池に交換します。

5 電池ケースをコントローラーの奥までしっかりと差し込み、ツマミねじで固定します。



※ コントローラー内に水が入らないように注意してください。

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

買替え
ご検討

摩耗劣化部品の交換

日頃のお手入れについてはP27~28、定期的な点検についてはP29~33をご確認ください。

消耗部品とは、使われてなくなっていく部品のことです。

消耗部品の例/リチウム電池・アルカリ乾電池など

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例/電装部品(センサー)・ストレーナ・パッキン・オーリング など

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。部品の詳細についてはP39を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

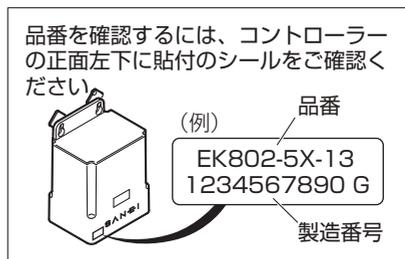
〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理依頼と部品交換依頼先:お求めの販売店(工事店)又は当社

●連絡していただきたい内容:

- 住所、氏名、電話番号
- 品番、品名
- お買上げ(お取付け)年月日
- 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、
部品交換の依頼
- 訪問希望日



●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
ホームページ www.sanei.ltd

<無料修理規定>

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7) 施工説明書などに基つかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の製品の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の提示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。
 - ★ 補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

修理メモ

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。
 保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。
 お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。
 本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。	
保証期間	対象部品	期間 (お買上げ日/お取付け日から)
	本体	2カ年
お買上げ日 (お取付け日)	年 月 日	
お客様	お名前	様
	お住所	
	お電話 ()	
販売店 工事店	店名 住所	
	電話 ()	

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
 カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
 受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
 ホームページ www.sanei.ltd